

生ごみ堆肥化装置購入助成金制度を 活用してごみ減量に挑戦！！

市では、食品ロスの削減によるごみの減量やリサイクルの推進を図るため、生ごみ堆肥化装置の購入者に対して、助成金交付をしています。

助成金対象の装置

- ・生ごみ堆肥化容器（コンポスト、密閉式容器、キエーロ）
- ・機械式生ごみ処理機

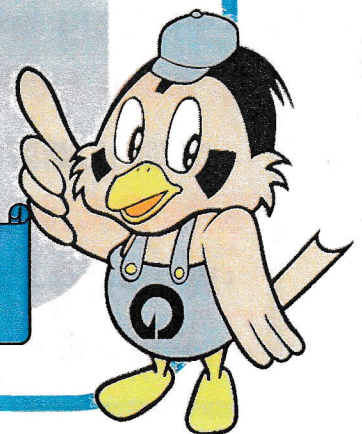
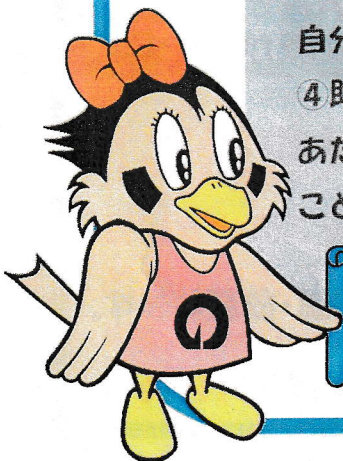


助成金の対象基準

市内に住所を有し、居住している方、または、市内に事業所を有している事業者の方で、次の全ての要件を満たすもの。

- ①登録販売店または認定店から生ごみ堆肥化装置を購入すること
インターネットでの購入や未登録販売店で購入されたものは対象外です。
- ②生ごみ堆肥化装置を自己の敷地内に設置すること
- ③生ごみ堆肥化装置によって減量化し、または堆肥化したものを自分で利用すること
- ④助成対象者及び助成対象者の世帯全員（事業者・法人にあたっては、当該事業者・法人）が市税を滞納していないこと。

登録販売店や詳しい手続き方法は、ホームページ
または「ごみの出し方 資源の出し方」記載。



堆肥化装置の使い方

①キエーロ

使用方法

1. なるべく日当たりがよく、風通しの良い場所に設置する。

2. 20 cmくらい穴を掘り、生ごみを入れる。

・穴が浅いと、臭いや虫の発生の原因となります。

3. 生ごみと土をよく混ぜる。

・シャベルを使用し、生ごみと土の見分けがつかなくなる位よく混ぜる。

・1回の生ごみは300～500gが適量。この作業が一番重要です。

4. 乾いた土を被せる。

・表面の土が乾いていることで臭いを防止し、虫の発生を防ぎます。

5. 夏場は約3～5日、冬場は約2～3週間で分解される。

・埋める場所を順番に変えて使ってください。



②コンポスト

使用方法

1. 日当たりや水はけの良い場所を選んで設置する。

・地中に10 cmほど容器に埋めるのがポイントです。強風で動く可能性があるなので、掘った穴の土をコンポストの周りに集めておきましょう。

2. 生ごみは「新鮮なうちに、細かく切って、水切りしてから」入れる。

・細かくすることで堆肥化するまでの時間が短くなります。

3. 原料には土を被せる。

・土には微生物を多く含み、水分を吸収・悪臭を防ぎ、堆肥化を進める効果があります。

4. 中身をよくかき混ぜる。

・定期的に新鮮な空気を含ませ、微生物の活動が活性化されます。

5. 満タンになったら保温して放置する。

・満タンになったら、コンポストを取り外して土やビニールを被せて保温・放置します。

6. 夏場は約2～3ヶ月、冬場は約4～6か月放置すると堆肥になる。



③密閉式容器

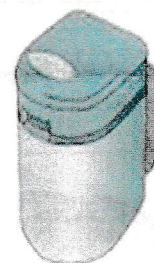
使用方法



1. 容器の底にぼかし(発酵促進剤)を入れる。
2. 生ごみは「新鮮なうちに、細かく切って、水切りしてから」入れる。
3. その上にぼかし(発酵促進剤)を振り掛けて、しっかりとふたをする。
 - ・ 空気のない状態で作用する微生物の活動を利用する仕組みのためしっかりと密閉する必要があります。(悪臭が発生するものとなります。)
4. 発酵液が底にたまったら抜く。
 - ・ 発酵液は、水で1,000~2,000倍に薄めると肥料として使用できる。
5. 夏場は10~15日、冬場は15~20日で発酵し、さらに数週間で堆肥になる。
 - ・ 容器の中では堆肥化しません。発酵後は土と混ぜます。(夏場の気温が高い時期は臭いが出やすいので注意。) 埋めて熟成させて堆肥化しましょう。

④機械式生ごみ処理機(乾燥式)

使用方法



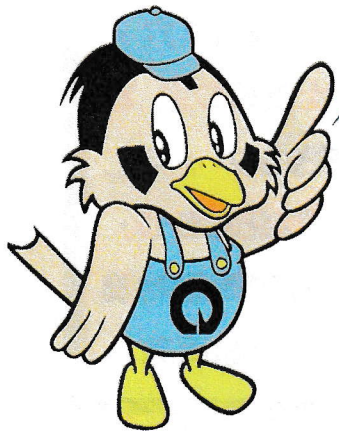
1. 装置に生ごみを入れる。
 - ・ よく水切りをすることで処理時間を短縮できます。
2. 温風で生ごみを乾燥させる(体積が約1/7になる)。
 - ・ ごみの種類によって乾燥後の体積が変わりますが、そのまま捨てるより約1/7程度ごみの減量ができます。
3. 堆肥にする場合、土に埋めて約1~2ヶ月で堆肥になる。
 - ・ 機械式生ごみ処理機には上記のような、生ごみを乾燥させる乾燥式以外に、微生物の力を利用するバイオ式など様々な種類があります。

【ご注意】

※いずれの装置も紙やビニール、プラスチックなど人が食べられないもの、貝殻などの固いものは分解・堆肥化できませんので入れないようにしましょう。

※各メーカーの機種によって使用方法は異なりますので、実際の使用方法はメーカーのHPや取扱説明書を確認してください。

気になる助成金額

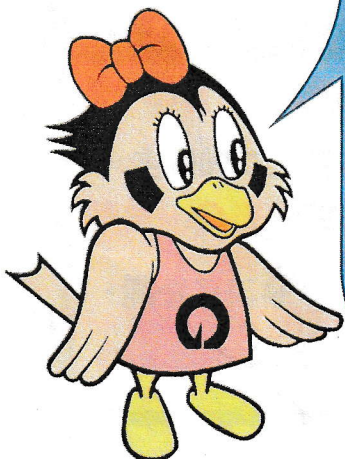


コンポストを**9,500円**で購入した場合は、
9,500円の1/2は**4,750円**になります。

百円未満切り捨てのため、助成金額は、

4,700円の助成になります。

対象装置	助成範囲	限度額	条件
生ごみ堆肥化容器 (コンポスト、密閉式容器、キエーロ)	1基につき購入価格の1/2 (百円未満切り捨て)	10,000円	1か年度につき、 1世帯2基まで
機械式生ごみ処理機	購入価格の1/2 (千円未満切り捨て)	30,000円	5か年度(該当年度を含む) につき、1世帯1台まで



機械式生ごみ処理機を**65,000円**で購入した場合は、
65,000円の1/2は**32,500円**になります。

千円未満切り捨てのため、**32,000円**になりますが、

助成額の**限度額は30,000円**のため、

30,000円の助成になります。